


好間一小のみなさんへ

★ていがくねんのみなさんは、おうちの人によんでもらいます

「好間一小図書館のナニ」  
「もつと夏休み！しかし、読書感想文は悩むの巻」  
「よし、放課後の好間一小の図書館。だれもない図書  
館で、「人残りで委員会の仕事をしている女の子」「本好き  
(まゆみ)」「よし、だれにも言えないワシがあった…」



「なんじゃや？それはワシに話してみなさい。相談にのるぞ。」  
「実は、読書感想文がちょっと苦手なんです…」  
「なるほど。確かに感想文を書くことに苦手意識をもっている子ども達もいるかもしれないのお。」  
「そうじゃ！ワシが読書感想文を書く時のポイントを伝授しよう！」  
「本ですが！よろしくおねがいしますー！」



「ふお、ふお、ふお。好間一小の諸君。元気かのお。ワシはとつても、とつても元気じゃ！なぜか、分かるかのお。」  
「待つに待た夏休み！だから…」  
「そうじゃ！夏休み中は、ワシは図書館でのんびり、ゆつくりする予定じゃ！好子君はどんな夏休みを過ごす予定かな？」  
「私は、宿題を早めにやめて、八月はゆっくり過ごしたいと思っています。でも、一つだけ心配なことがあるんです…」

- ①主人公について(性格・その他の情報)
- ②主人公や作品に大きな関わりを持つ人物について
- ③本の中で、印象に残った大きな出来事について(いつ・誰が・何をした・どうなったかなど具体的に書く)
- ④人物や出来事に関して、自分が感じたことについて(なぜそのように感じたか、自分の日頃の興味、関心、体験、生活と関連づけて書く)
- ⑤本に関連して、他にも参考になるようなことについて(別の本、ニュース、新聞記事、話題、体験など)
- ⑥本を読んで、自分の気持ちが変わったことや、発見したことについて
- ⑦本を読んで、これからの学校生活、家での生活、生き方、将来に向けて活かしていきたいことについて

、2回目は、気になるところを立ち止まって読みながら、マークしていくんじゃ。  
図書館の本や他の人の本には、もちろん線を引いたりしちゃいかんぞ！！  
その代わりに、しおりや付箋を使うのが、おススメじゃ。  
①面白いところ  
②悲しいところ  
③腹が立ったところ  
④ジーンときて涙が出そうになったところ  
⑤自分にもたような経験のあるところ  
⑥よく分からないところ  
⑦初めて知ったこと  
⑧誰かに伝えたいと思ったこと  
⑨グッと心にきた文章・一言  
どンドンマークじゃ！  
3回目は、マークしたところを中心に読んで、自分の考えを確かめるのが大切じゃぞ！

読書は、好きだけれど読書感想文は苦手という人もいるはずじゃ。読んでいる時はあんなに楽しいのに、原稿用紙何枚とか言われると、何を書いたらいいのか分からなくなってしまっ、困ってしまった経験もあるじゃろう。

感想文には、本を読んで1番心を動かされたことを書くんじや。そのために繰り返し読むのが大切じゃ。だから1回目はだいたいの感想をつかみながら読むのがおススメじゃ。

原稿用紙に書く前にノートなどに上のようなことを書きだしてみるのも、物語を整理する手助けになるぞ。



それは良かったのお!では、特別にあと1つポイントを教えるぞ!!

図書館大魔王!  
なんだか私。書け  
そうな気分になっ  
てきました!!



- ①本を読んだ感想から書く。
- ②本を読んだ感想をきつかけから書く。
- ③本を読んで自分も同じような経験したことがあったら、そのことから書く。
- ④会話から書き始める。
- ⑤自分が疑問に思ったことから書き始める。
- ⑥本をよんで一番心に残った場面の文章を使って書く。

さて次じゃな。感想文を書く時に1番大事なのは、書き出しじゃ。みんな最初に何をかくかで悩んではいないかのお? それさえ決まれば、意外とすらすら書けるものじゃ。書き出しを工夫してみるとよいぞ!!



書き出しが決まったら、いよいよ本文じゃ。感想文を書く前にメモしたり、マークしたりした材料をもとに「文の組み立て表」を作るといいのお。これは、何かを作る時の設計図のようなものじゃ。

下の学年のみんなは、主人公に話しかけるような文章にしてもよいぞ!お手紙を書くんじゃ!!



題名	書き出し	段落構成	はじめ	中	終わり
春さんのスケッチブック	「人間は運鈍根 <small>うんどんね</small> の言葉をはずれずにいたい	何について	心に残った文章を使って書き始める	・疑問に思ってたこと ・暗くて村田さんの悲しい運命 ・無言館の意味	・運鈍根の意味
		内容	・「ほく、「運鈍根」って分かった気がするんだ。もう、鈍だけなんて言われないうちに、がんばるよ。」という会話文が気に入った。 ・主人公は、「運鈍根」の意味をどんなふうに考えたのかを説明しよう。 ・どんなにがんばってもなかなか進まない競争という運命によって村田さんは死んでしまった。 ・言葉をどきどきしない思いを絵やコマの面学生たちで、その絵をみていると何も言葉が出ない、無言館をたずねた人達		・運鈍根とこの言葉を知らなかったよかった。

### 『私のおすすめ本 メッセージカード』

#### コンテスト」募集

##### (1) 応募要項

感動した本、勇気をもたらした本を「ぜひみんなに読んでもらいたい」という気持ちを含め、一枚のカードにイラストや絵や文章で表現する。

##### (2) 作品の体裁

##### 【用紙の種類】

指定なし。色紙なども含め自由

##### 【用紙の大きさ】

はがき大(100mm×148mm)の用紙

##### 【必要記入事項】

表:①書名 ②作者名 ③イラストや絵

裏:④文字数や文字色は自由

⑤名前 ⑥学校名 ⑦学年 ⑧書名

⑨作者名 ⑩出版社

はい!がんばります!! また「おすすめの本コンテスト」も募集しています。参加してみてくださいね!

感想文の題名は、自分の書いた感想文をひとりで表す大切なものじゃ。今年の感想文には、工夫してみてもいいのお。上手な感想文より、みんなの気持ちが伝わってくるよ感想文を目指して頑張ってみようのお。

